

物質は思考が生み出す

ボブ・トローブリッジ 神学修士 (Bob Trowbridge, M.Div.)

☆

ボブ・トローブリッジは元長老派教会牧師、スピリチュアル・カウンセラー、大学講師、そして、「病気の隠された意味」の著者。現在、トローブリッジ夫妻はノースカロライナ州カーボロに在住。

☆

エドガー・ケイシーのよく知られた言葉の一つに「思考は物質化する」というものがある。ケイシーの哲学を簡潔に要約したこの言葉を私は好む。これは文字通り、そして隠喩としても、創造のプロセスを具体化した表現である。思考は行動を生み出す。思考は私たちが毎日経験している人生を生み出している。

そのコンセプトは簡単に理解できるのだが、それを人生に応用する方法が時として難しい。問題のひとつは、私たちは自分たちが考えていることを、常に認識しているわけではないということだ。そのため、日常の中で経験、出現する「物質」・・・それは自らの思考が招いた物事だが・・・との遭遇に驚かされることがある。

私たちは霊的成長を目指して努力するが、時として失望させられるときがある。私の場合は、自分の霊的な潜在能力を認識しているにもかかわらず、その潜在的な力を発揮できない自分に失望することがある。私の中核にある驚くべき存在に気づけば気づくほど、その驚くべき存在と、現実の表面的な私との間のギャップを感じざるを得なくなる。

誰もが知っているように、その驚くべき存在になるためには、自分の思考を変えればよいということは私にもわかっている。しかし、もし私自身が人生に困難をもたらしている思考に気づいていなかったら、いったい私に何ができるだろう。さらに、そのような思考のいくつかは、私の無意識の領域や、あろうことか、過去世に由来するものであるとすれば、私はいつまでも人生の障害物を創造し続けなければならない運命にある、ということなのだろうか。

* 注意を向けること *

この疑問に対する明白かつ伝統的な答えは、私たちが抱く思考に注意を向けることだ。
仏教では次のように教えている。

「よく観察せよ、よく観察せよ、よく観察せよ。」

キリストはこう論ず。

「明日のことは思い煩うな。」

未来や過去のことについて心配することは、ネガティブな創造的思考を放出することにつながり、それが私たちの人生にネガティブな現実を創造することにつながっていく。

私たち自身の思考に気づくだけで、私たちの人生で経験するある種の出来事の原因を理解するために、非常に有益な助けとなるだろう。

私たちにできるもう一つの方法は、意図的にポジティブな思考を抱き、それを口にしてみることである。

これによって生じる力をアフメーション（肯定的思考）の力という。

アフメーションはポジティブな創造的思考を放出するのに非常に有効であり、それによって私たちの人生にポジティブな現実を創造することができる。

ただし、私たちが意識的に肯定的思考を抱いても、無意識のうちに抱く否定的思考によって、その効果が限定、ないしは、妨害されてしまう。

たとえば、私の知っているある女性は、ある特別な聖歌を歌っていた。

この歌は、人生におけるあらゆる問題を癒す力があるということだった。

彼女はこの聖歌を歌うことで、体重を減らそうとしていたが成功しなかった。

私は何年その聖歌を歌っているのか彼女に聞いたところ、10年だと答えた。

私なら2週間やって効果がなかったらやめるだろう。

私たちがアフメーションを行いながらいつも成功しないのは、しばしば、無意識のうちに、一日中それを否定してしまうような思考を持ってしまうからである。

私たちが日常抱く思考は、自己催眠の一形態に他ならない。

私たちが話す言葉もまた自己催眠である。

毎朝5分間、自分は神の子であると言い聞かせても、その日一日、自分はまぬけだと考え続けたらなら、その否定的な思考が朝の肯定的な思考を押しつぶしてしまうだろう。

アフメーションは効果的だが、私たちが一日中放出しているその他の暗示や思い込み、また、否定的な思考にも注意を払っている必要がある。

私たちが霊的成長のゴールをめざしているとき、私たちが躓かせる創造的思考や言葉をどのようにして認識したらいいのか。

ここでも、答えは単純である。

* 物質は思考である *

思考が物質である・・・つまり思考が物事を招く・・・とすれば、私たちが人生で遭遇するものはみな具現化した思考である。

つまり、物質は思考なのである。

目に見えるものであれ見えないものであれ、習慣になっているからとか、無意識なものであるからとか、過去世からもたらされているからという理由で、自分たちが放出している創造的思考がわからないのであれば、自分たちの人生に具現化している物質を見てみるといい。

私が何を言いたいのかおわかりだろうか。

私たちの思考が創造した物質を理解するには、また、それらの物質が私たちの思考について示唆するものを理解するためには、私たちが睡眠中に見る夢を考えてみるといい。

動くものであれ静止したものであれ、夢のさまざまな側面は、その夢を見ている人のある部分、精神的領域を象徴していると私は信じている。

今現在の私たちの人生について、夢が与えてくれる重要な情報には、ほとんど脚色が加えられていない。夢が私たちに告げようとしているのは、自分とは何者かということであり、同時に、私たちが自分たちを何者と考えているかということである。

夢は私たちの過去、過去世、現在、未来、さらには、神や無意識の領域からもその源を発している。

別な言い方をすれば、夢は私たちの思考・・・意識的なものであれ、無意識的なものであれ・・・が創造した「物質」である。

夢解釈を行うことにより、私たちの思考、態度、感覚、信念、予期などが、人生をどう動かしているのか、また、どのような問題や限界を生み出しているのか、といったことを理解する手助けを得ることができる。

夢の中で見たものを正確に解釈することによって、今抱いているどの思考が、どの特定の物質を生み出しているのか理解することができる。

それによって、その思考や信念を変える手がかりが得られる。

私が述べておきたいのは、覚醒時に経験することは、夢を見ているときに経験することとまったく同質なものだということである。

私たちが覚醒時に会う人々、訪れる場所や経験することなどは、すべて具現化された思考である。

自分がどのような思考を抱き、放出しているか知りたければ、ちょうど夢を解釈するように、覚醒時に会う人々や経験したことなどを分析してみればいい。

* あなたは常に自分自身と遭遇している *

特に今述べたことに焦点を当てたケイシーの言葉に次のようなものがある。

「あなたは常に自分自身と遭遇している」

この記事によりふさわしい言葉に言い換えると、次のようなものになるだろうか。

「あなたは常に自分自身の思考と遭遇している」

自己とは、自己に関する思考、他者に関する思考、世界に関する思考などの、私たちが抱いているすべての思考を集約したひとつの形態ではないだろうか。

物質が思考から生み出されるということを理解するにつれて、過去に生み出された物事を思い出せば、どのような思考がそれらを生み出したのか理解することができる。

私たちの霊的成長の障害となるもの、病気、人間関係の問題、経済的問題、また、仕事上の問題などの、物質化した好ましくない現象があるならば、それらの問題をよく観察することで、私たちが放出したどの思考がそれらの問題として具現化したのかを理解できる。

私たちの人生をあたかも夢だと思うことによって、人生で経験することにある一定の客観的な距離をおくことができ、もはや自分たちが犠牲者だと感じなくてすむようになる。

こんな風に考えることもできる。

「もしこれが夢なら、これは自己について何を語っているのだろうか。」

これは私がこの世界に放出している思考について何を語っているのだろうか。」

最後に、私たちの思考のいくつかは、それが意識的なものであれ、無意識的なものであれ、私たちの夢や人生に非常に力強く美しいものを創造しているということを理解することは重要である。

私たちが見る夢は、単に人生において問題を引き起こしていることや、修正する必要があることを教えてくれるだけではない。

それらは私たちの真の姿、力強く、美しく、そして、神聖な姿さえも示してくれる。

あなたが夢の中に力強いイメージを見たとするなら、そのイメージは、あなたが抱いている思考に関する何かを教えようとしている。

それはあなた自身に関する何かを教えている。

あなたの人生に尊敬し、敬慕し、愛する人がいるなら、その人もあなたの思考が創造した「物質」である。

夢や人生の中に存在する非常にポジティブなイメージを認め、それらと同一化することもまた・・・ちよど鏡の中にいる自己と出会うような・・・自己との出会いである。

私たちは、自分たちに限界を設け、霊的成長の妨げになる思考を暴き、変える事ができる。

私たちは理想の自己を現出させる美しく、力強く、神聖な思考を受け入れることができる。

それにより、私たちはその理想の自己に近づいていくだけでなく、その理想の自己を体現する他人やあらゆる人生の場面にますます遭遇するだろう。

私たちが他者へと祝福を送る経路となるにつれて、その祝福は私たちの人生にポジティブな物質とな

って現れてくるであろう。

今週、あなたの思考でどれだけのすばらしい物質を創造できるだろうか。

☆

「思考」に関するエドガー・ケイシーのリーディング

「あらゆる環境下における人間の状況、思考、行動などは、物質からできている。

思考が物質になるからである。

思考は時空の複雑なもつれの中に具現化する…われわれのいる物質的世界は、非物質的世界における活動が具現化したものに過ぎない。」

3976-16

「思考は物質化するからであり、その思考はあなたがたの心が生み出すのである。

それ故あなたがたは、自己のなすことや言うことに、自己自身の内で出会うのである。」

2564-3

「思考は物質化する。

このことは、外部からの影響に極度に敏感な人には特に効果を現す。

これは針を手に刺すときに感じる痛みと同じぐらいの物理的現実である」

386-2

「論争はほとんど役に立たない。

適切な精神的態度や祈りのほうが、はるかに大きな実りをもたらす。

思考から放出される波動が、自己や他者の人生をとりまくあらゆる領域に届き、それらが具現化するからである。」

1438-2

<2007年1、2月号より>